



2020年5月11日

各位

会社名 大東港運株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 曾根好貞  
 (JASDAQ・コード9367)  
 問合せ先 専務取締役 荻野哲司  
 電話番号 03-5476-9701

## 大東港運グループ 第7次中期経営計画

### 独自の価値創造～Develop inherent value～策定のお知らせ

大東港運グループでは、今後3年間（2020年4月1日～2023年3月31日）に取り組む第7次中期経営計画「独自の価値創造～Develop inherent value～」を策定いたしましたので、概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

#### [1] 第6次中期経営計画の総括

##### (1) 連結業績目標の総括

(単位：百万円)

		連結業績		
		計画	実績	増減
2018年3月期 (実績)	営業収益	19,500	21,216	1,716
	営業利益	700	655	▲45
	経常利益	700	678	▲22
2019年3月期 (実績)	営業収益	20,000	22,401	2,401
	営業利益	750	799	49
	経常利益	750	841	91
2020年3月期 (実績)	営業収益	20,500	23,106	2,606
	営業利益	800	873	73
	経常利益	800	913	113

※2020年3月期につきましては、2020年5月11日公表の業績値を記載しております。

##### (2) 経営計画骨子の総括

###### ① 営業力強化

- ◆ 過去最高の営業収益を計上
- ◆ TPP11等、多様な貿易協定へ円滑な対応を実現
- ◆ バックアップ力の向上により、従業員一人あたりの案件処理件数が増加

② 生産性向上

- ◆ 基幹業務システムのリプレースを実施し業務効率の向上を実現
- ◆ 経営環境の変化・働き方の多様化に対応した人事制度の改善を実施
- ◆ 業務に合致した組織・機能の再配置を実施
- ◆ RPA (Robotic Process Automation) を導入し単純・反復作業のIT化を拡大

③ 事業拡大

- ◆ 物流会社丸田運輸倉庫株式会社の子会社化
- ◆ 韓国・釜山の物流会社DB Corporationとの業務資本提携および提携関係の強化
- ◆ シンガポールの物流会社Ever Glory Logistics Pte.Ltd.の子会社化
- ◆ 共同出資による物流会社株式会社眞榮ロジの設立

[2] 第7次中期経営計画 (2020年～2022年度) 経営ビジョン

2020年度を初年度とする第7次中期経営計画では、経営理念である“「ありがとう」にありがとう。”を基本に、これからの継続的發展を展望し改めて当社グループの強み、特色、価値を示すべく「独自の価値創造～Develop inherent value～」を経営ビジョンとしました。ワンチームとなって、新しい時代『令和』をしっかりと歩んでまいります。

(1) 連結業績目標

(単位：百万円)

連結	第72期 2021年3月期 (計画初年度)	第74期 2023年3月期 (計画最終年度)
営業収益	22,200	25,000
営業利益	660	1,000
経常利益	680	1,000
当期利益	480	700

※2021年3月期につきましては、2020年5月11日公表の業績予想値を記載しております。

(2) 経営計画の骨子

① コア事業の拡大と基盤強化

組織営業力の高度化と生産性の追求、新たな価値の創出。

② 物流インフラ事業の拡充

既存アセットの有効活用、投資、安定した運送の実現。

③ 人材育成の高度化

多様な人材の育成推進、働きがいの持続的な向上。

④ グループ全体成長

グループ各社の発展と協働力強化。

以上